

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018年7月28日
所属学部 研究科・学府	融合理工学府創生工学専攻デザインコース
所属学科・専攻	デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	Köln International School of Design / Politecnico di Milano											
留学先所属学部等	Integrated design / Design and Engineering											
留学期間	出発日	2017/9/12	入学日	2017/10/1	修了日	2018/7/12	帰国日	2018/7/13				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他()							
	通学時間	30分					On campus					
	通学方法	電車・徒歩										
	居室スペース	<input type="radio"/>	個室	()	人部屋	その他()						
	共有スペース	<input type="radio"/>	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>
食事	自炊	80 %	学食	0 %	外食	20 %	その他 % ()					
保険	海外旅行保険(名称)	Step in										
	派遣先大学指定の保険(名称)	AOK						<input type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田 ⇄ フランクフルト(飛行機) ⇄ ケルン(電車)											

2. 留学にかかった費用について

総費用	150万～200万 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input type="radio"/>	両親	100万～150万 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="radio"/>	JASSO	88万 円	<input type="checkbox"/>	その他名称()	円			
その他	<input type="checkbox"/>	千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/>	その他()	円			

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	65,000 円	その他()	円	
留学中	<input type="radio"/>	海外送金	<input type="radio"/>	キャッシング	<input type="radio"/>	その他 (クレジットカード

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	0
住居にかかった費用	705,900円
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	euro	1,000	140,000	円
海外旅行保険	euro	649	84,370	円
OSSMA	euro	150	20,000	円
査証・在留許可証	euro	250	32,500	円
住居	euro	5,430	705,900	円
食費	euro	1,500	195,000	円
通学に要する交通費	euro			円
教科書、教材費	euro	30	39,000	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (旅行費)		4,655	600,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定申請の有無			
1 International Mentoring, Lectures, Tuesday Talks	正規	4(ECTS)		有	○	無
2 Cologne Resources	正規	1		有	○	無
3 Sketching visual explanations	正規	3		有	○	無
4 Sweets 2018	正規	12		有	○	無
5 The Future of Work	正規	3		有	○	無
6 Gute Stube AG	正規	2		有	○	無
7 German for designers 1	正規	1		有	○	無
8 Design Concepts in SciFi movies	正規	4		有	○	無
9 Design Fundamentals	正規	6	○	有		無
10 Product Development Design Studio 2	正規	12	○	有		無
11 User and Social Innovation	正規	6	○	有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

前半のKISDでは学科やコースが存在せず、様々な範囲のデザインにまたがって数多く用意された短期プロジェクト(2週間)・中期プロジェクト(1ヶ月程度)・長期プロジェクト(半年)・セミナーから学生がの好きなものを組み合わせて独自のプログラムを組むことができる。授業の組み方の条件が複雑なため留学生は渡航前に事前にアンケート調査に答え、その回答によって大学側が一通りの授業日程を組んでくれるが初日のオリエンテーション終了後希望のメールを出せば自分の希望するプロジェクトに変更できる場合が多い。2階の廊下の掲示板に各クラスの受講者の名前が貼り出されるのでオンラインでの手続きに加えてそこでの名前の確認、追加記入を行う。

後半のPolimiではコースを選ぶとその中からクラスを選ぶことができる。希望すればファッション科などの学科の授業も受講することができる。受け入れ許可証発行後大学からメールが届くので添付されたフォーマットに希望のクラスを記入する。その後希望調査をもとに受講可能なクラスが知らされる。基本的にクラスの変更はできないがコーディネーターの人に相談すれば調整してくれることもある。

3-2. 授業内容、方法に関して

KISDでは各プロジェクトごとにデザイン分野、テーマ異なる。私が受講したコースでは新しいお菓子をデザインした。授業内ではペアワーク、グループディスカッションなどがあり、毎回プレゼンテーションを全員の前で行い意見交換をする。また、工房の施設が充実しているため実際のモックアップは制作しやすい環境にあった。

PolimiのDesign & Engineeringのコースでは製品の3Dなどを作り実際の製造の方法や原料を考えることを重視していた。内容はチームワークで各チームが定めた電化製品のリデザインを行う。1週間の間にメンバーで自主的に集まって作業を進めたのち授業内にてそれぞれ先生にアドバイスをもらった。

3-3. 語学力について

授業は全て英語で行われた。渡航前に国内外ワークショップに行ったり留学生と交流したりして英語に触れる機会があり、他にもTOEICを勉強したりとある程度準備はしていた。それでも実際に人と会話する際の英語力は十分でなくディスカッション中に不便を感じるが多々あったので勉強を続けることが必須である。また、イタリアでは街中では英語が通じないことが多いので渡航前にイタリア語の授業を取るなどして得た知識が役に立った。

3-4. 図書館など学内施設について

KISDでは図書館のほかワークショップと呼ばれる工房がデジタル技術、セラミック、木工に分かれて用意されていた。各工房には専門の先生が常駐しており分からないことがあった場合は聞くことができる。その他図書館、学生運営のカフェなどもあり交流が盛んで良い雰囲気である。
Polimiはキャンパス自体が大きく、図書館、工房はもちろん、自由に使えるコンピューター室も充実している。ただし各工房に入るためには講習や試験を受けて認定証を取得しなければならない。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

両国とも知り合いのつてで紹介してもらおうかオンラインで貸す人と借りたい人が集まるサイト、学内のFacebookのグループなどで探す。
ケルンでは住居探しが非常に難しく、詐欺と本物の見分けがつかなかったため渡航前に決定することができず最初の2週間ほどはAirbnbで生活していた。詐欺が本当に多いので気をつけてください！その後オンラインサイトで30件ほどの物件に希望メールを出し(返信があったのは2件)内見をしに家に行き契約をすることができた。物件はシェアハウスで月530euro、2人暮らし用の綺麗なアパートだった。
ミラノでもオンラインサイトで探したがケルンの時よりも簡単に見つけることができた。(Spotathomeというサイトがカスタマーサービスがしっかりとっていて詐欺物件の心配がなかったため。)こちらも2人暮らしのシェアハウス、月500euroで貸し出し人の大家さんと2人で住んでいた。個人的に大家さんとの暮らしは何かと気を使うことが多いためストレスは多いように思う。特に掃除などちょっとめんどくさがりの方は要注意。

4-2. 食生活について

外食は高く、日本のお惣菜やコンビニなど手間をかけずにパッと食べれるものが少ないのでほとんど自炊をしていた。(ただしドイツの冷凍食品は優秀なのでよく利用していた。)現地特有の美味しい食材を堪能できるいい機会だと思います。ドイツではソーセージ、ビール、イタリアなど。ただ普段の生活では日本風の味付けをすることが多く、アジアマーケットで味噌、醤油、だし、めんつゆなどは揃えて料理をしていた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

住居の中にWifiは通っていたので課題を家でやったりするときに困ったことはなかった。携帯電話はSIMフリーのものを持っていきドイツではTelecom,イタリアではTIMのSIMを買った。どちらも月ごとに払うシステムで順次自分のアカウントにお金をチャージしていくとそこから引き落とされる。旅行時の携帯電話利用は今年の夏よりEU内ローミングが無料になったのでSIM 交換なしで利用できることが多い。ただしイギリスやアイスランドなどのグレーゾーンは要確認。

4-4. 服装について

気候は日本とそれほど多くは変わらなかったため日本から持ち込んだもので対応できた。日本に比べ現地の人々の服装はカジュアルなものが多いので自然と自分もズボンにTシャツといった服装が多くなっていった。

4-5. 健康管理について

季節の変わり目などに海外で過ごしているストレスが溜まっている為なのか風邪をひき熱が出るのが日本にいる時に比べ多かった。私は現地のお医者さんにはかかりたくなかったので薬を飲む・寝ることで対処をしていた。薬は日本から風邪薬・痛み止め・胃腸薬などを持っていったのでそれらを服用していた。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

保険はステップインというEU内が補償範囲のドイツの保険に加入していた。その他保険付きのクレジットカード、OSSMAにも加入していた。私は留学中盗難や事件似合うこともなく医療機関にも行かなかつた為保険は使わなかつたが、留学仲間では盗難の被害を受けた人が多くいたのでそこをきちんと補償してくれる保険が良いと思われる。

4-7. 課外活動について

前半のKISDでは授業が始まる前の学科でのオランダ旅行、メインでとっていた授業の展示を幕張メッセのようなホールで行ったりした。後半のPoimi授業内で使う素材の検討に役立つようプラスチックのサンプルがたくさん展示されるフェアに全員で行き見学した。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外での人との関わりは私はあまりなかつた。

4-9. 日本から持参してよかったもの

薬、リップクリームや化粧水などの基礎化粧品、ボールペン等の筆記用具(海外で買うと高い)、小説

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

単語帳、現地語の参考書

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

公共の場での対人関係として飲食店や服屋等でも店員のサービスは格段に日本の方がいい。そもそも店員に愛想をそこまで求めていない風潮な気がするのでぶっきらぼうな人も多い。逆に日本では考えられないくらいフレンドリーな店員もいる。客側のマナーもあまりよくない。びっくりした例としては古着屋やファストショップ(H&Mなど)で服が床に散乱していたり、試着後の服の首の部分にファンデーションがべったりついているものが時折見られることがある。ただ、日常生活での対人関係はやはりフランクな人が多い為仲良くなりやすいと思う。特にイタリアでは日本に比べて思いやりが強い人が多く、優しさに触れることが度々あってとても嬉しかった。相手の尊厳を大切に接している人が多く、人を人として見ないような態度、見下した態度は嫌われるのだろうと思った。(人種の違いによる態度の違いはまた別)

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【オランダ・アムステルダム(観光)】2017年9月(4日間)、約1万円
 【ベルギー・ブリュージュ(観光)】2017年10月(2日間)、約2万円
 【ドイツ・ミュンヘン(観光)】2017年10月(2日間)、約2万円
 【フィンランド・ヘルシンキ(観光)】2017年12月(7日間)、約10万円
 【デンマーク・コペンハーゲン(観光)】2018年1月(2日間)、約2万円
 【イギリス・ロンドン(観光)】2018年2月(3日間)、約5万円
 【ドイツ・ベルリン、ドレスデン(観光)】2018年2月(3日間)、約4万円
 【アイスランド・レイキャビク(観光)】2018年3月(5日間)、約10万円
 【イタリア・フィレンツェ(観光)】2018年5月(5日間)、約5万円
 【イタリア・ナポリ、シチリア島(観光)】2018年7月(8日間)、約10万円
 【スイス・ツェルマット、グリンデルワルド(観光)】2018年8月(8日間)、約10万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

気分転換に自宅で映画を見たり、買い物にでかけたりしていた。日本が恋しくなりホームシック気味になった時は日本のアニメや映画を見たりお正月や卒業式には友達とskypeをして日本の雰囲気味わうなどしていた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

1校目はドイツ・ケルンにあるKöln International School of Design。デザイン学科自体の規模はそれほど大きくはなく同じ学年の人の顔は大体わかるような関係性。学生の40%が留学生なので、私たち留学生も友達ができやすかった。
 2校目はイタリア・ミラノにあるPolitecnico di Milanoで大規模な大学で授業が同じ学生以外の学生の顔はあまりわからない。授業数は多く企業と共同で行うものも多々あった。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

留学前の英語の学習はできるだけやっていった方が向こうに行った時に助かる。特に単語などの知識面。喋ったり聞く能力は渡航後伸びる為。またなんの目標もなく留学に行ってしまうとただ海外で暮らして旅行をするだけの1年になってしまうので、これだけは成し遂げるぞと行った目標を持った方が良い。

5-3. 留学を終えて

1年間の交換留学について、留学してる間はなんて長い一年なんだと思っていましたが帰ってきてから思い返してみても長い一年だったと思います。緊張しながらドイツに降り立ったのがずっと昔のことに感じます。この一年、英語で授業を受け、友達を作り、価値観の違う人と同じ家で暮らしたりと初めてのことをたくさん体験させてもらいました。もちろん楽しいことばかりではなくつらく思うこともあったのですが現地の人との関わり合いで周りの人が原因で落ち込むことはあまりなく、自分の実力のなさや不甲斐なさにいつも悔しい思いをしていた気がします。1年前の自分と今の自分が明確に違う部分はここだ！という点ははっきりとは言えないのですが帰国後あった友達に(コミュニケーションの面で)少し変わったと言われることがあり、そうなのかなと感じています。留学という学びはここで終わりではなく、大切なのはこの先数年間でこの経験を存分に活かせるかどうかでもあると思います。10年後にはっきりとあの時留学をしてよかったと言い切れるように頑張っていきたいです。